

平成 30 年度決算の概要

学校法人高千穂学園の平成 30 年度決算は、学園監事の監査を受け、5 月 28 日の理事会・評議員会において、確定いたしました。

事業活動収支計算書により平成 30 年度と平成 29 年度を比較して本学の経営状態を説明いたします。

収入のうち、学生生徒等納付金は、入学者数増加・納付金増額により 1 億 99 百万円増の 22 億 35 百万円となりました。手数料は受験者増により 35 百万円増の 8 千万円となりました。補助金は、国や東京都・杉並区等からのものであり経常費等補助金として 2 億 5 千万円となりました。

これらの収入の合計である事業活動収入計は 2 億 32 百万円増の 27 億 13 百万円となりました。

支出の内、人件費は、10 千万円減の 13 億 76 百万円となりました。教育研究経費は 1 億 48 百万円減の 8 億 3 千万円となりました。管理経費は 6 百万円減の 1 億 98 百万円となりました。借入金等利息は新校舎建設に係るものです。

これらの支出の合計である事業活動支出計は、6 百万円減の 24 億 13 百万円となりました。

学校法人が教育研究水準を維持・向上していくために事業活動収入の中から組み入れた基本金の額は第 2 号基本金 1 億 5 千万円、第 3 号基本金 21 百万円となり、第 1 号基本金は除却分が取得分を上回り 7 百万円の取崩となりました。

基本金組入前当年度収支差額は 3 億円となり、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差引いた結果、当年度収支差額は 1 億 28 百万円となりました。